

令和5年度 後期学校評価報告書

学校名	三田市立 三田小学校
-----	------------

1 学校教育目標

明日を切り拓く 意欲と力を身に付けた こころ豊かなさんだっ子の育成
 ～確かな学力・ゆたかな心・たくましい体を育む～

2 今年度の学校重点目標

- (1)「確かな学力」の育成
- (2)「ゆたかな心」の育成
- (3)「たくましい体」の育成
- (4)多様な教育的ニーズに応じた教育の推進
- (5)地域とともにある学校づくりの推進

3 総合的な自己評価

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、子どもたちの元気な笑い声や歌声がもどってきた。運動会・音楽会・150周年記念行事だけでなく、校外学習(校区探検、社会見学、自然学校、修学旅行)・児童会活動(三田小祭り、感謝のつどい、6年生を送る会)を年間計画通りに実施することができ、昨年度より児童、職員とも見通しを持って学校生活を送ることができた。特に、150周年記念行事においては、司会進行・劇・受付・会場設営など6年生を中心に児童が主体となって取り組むことができた。このことは、学校目標「明日を切り拓く 意欲と力を身に付けた こころ豊かなさんだっ子の育成」が目指す児童の姿の具体であったと考える。

学校評価については、今年度、職員・保護者・児童の三者比較をもとに分析をおこなった。生徒指導では、あいさつや言葉遣いは良好な結果となったが、放課後の過ごし方に課題が見られた。いじめ対応については、毎月你的生活アンケートを実施し、引き続き早期発見・対応をおこなっていく。また、業務改善の推進にも積極的に取り組み、児童と向き合う時間の確保を目指してきた。職員朝会から職員夕礼に切り換えて朝休みから1時間目が始まるまで児童とコミュニケーションできるようになったことなど、少しずつ成果が表れてきている。今後も児童や教職員への負担がないように配慮しながら、保護者・地域との連携のもと、児童の成長、達成感につながる教育活動に取り組んでいく。

4 総合的な学校関係者評価

- ・今年度、実施された1年間の学習のすべての項目において、児童・保護者・地域・教職員との相互の連携がとられている。
- ・学校評価・教育方針全般において高く評価している。
- ・今後とも開かれた学校づくりの推進を継続してほしい。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、これまで感染拡大防止対策のため、出来なかった行事活動等が教職員の工夫のもと実施され、学校教育目標を達成されるような学校生活が送られていることを高評価したい。
- ・年間行事を計画的にすすめ、児童が自分で計画し、実行し、成功させることができた。「明日を切り拓く力」を身につけることができてきたと思う。

5 評価結果

自己評価			学校関係者評価	
分野・領域	評価項目 (取組内容)	評価結果及び分析	学校関係者評価 委員会の意見	
教育目標 教育方針	児童、地域、学校の実態や、教育課題への即応	<ul style="list-style-type: none"> ・「(児童) 学校が楽しい」の肯定的評価は86%と高い数値ではあるが、否定的な児童14%(約92人)の存在を意識し、児童の気持ちに寄り添う指導、学習意欲を高める取組が引き続き求められる。 ・運動会や音楽会の行事に対しては高い評価を維持できている。保護者の満足感や児童の達成感につながる行事運営が進められていることが分かる。さらに、今年度は「三田小祭り」や「感謝のつどい」「150周年を祝う会」なども来賓、地域の方を招き全校生で実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校目標の実現に向け、児童の発意、発案を生かしながら学校行事の運営をおこなっていく。 ・可能な限り、学校支援ボランティア、地域の方々、保護者の方々の協力を受け、「地域とともにある学校づくりの推進」を継続していく。 ・学校、学年、学級の目標を担当が意識して、各教科学習や特別活動、学校行事等のあらゆる場面において、児童に主体性を持たせ、自身の目標設定と、活動の振り返りを行う機会を設ける。 ・学年目標や学級目標に児童の考えを取り入れ、目標設定の経緯やねらいについても、通信等で保護者へ伝達する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細部にわたって、児童中心の心配りがなされていると思う。 ・様々な学校支援ボランティアや地域の人たちが学校に入り、子どもたちと関わっているため、「開かれた学校づくりの推進」は大変充実していると思う。 ・挨拶運動と共に人の話を聞く意識を持つような取組もなされた方がいいと思う。 ・「あいさつ」を自分事としてとらえることはとても大切だと思う。 ・「開かれた学校づくり」について管理職だけでなく、すべての教員に理解を増やしてほしい。
	めざす児童像、教師像、学校像の具現化に向けた指導	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつに関する項目⑦では、職員の肯定的評価が48%、児童の肯定的評価が82%とかなり差があった。児童のがんばりをしっかり評価していきたい。 ・めざす児童像の「学校が大好きな子」「粘り強さ」「あいさつ」に関しては、継続して取り組んでいく課題である。 		
教育課程	教育課程の編成(週時程・日課表・行事等)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時数について、学年、部会等でチェックしながら、計画的に進めることができた。 ・運動会や音楽会では、各担当・各学年が内容を工夫して取り組み、ほぼ100%の児童に達成感を感じさせることができ、保護者からも高い評価を得ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も年間計画を確認し、見通しを持って取り組んでいく。 ・繁忙期(懇談、成績)の時程の工夫、会議・研修等の内容や数の精選を行い、時間にゆとりをもたせる。 ・朝の帯時間の使い方は今後も検討が必要であるが、チャレンジタイムの継続についても視野に入れておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・煩雑な行事を巧みにこなしている印象がある。 ・授業時間等、計画的に進めておられたので、しばらく行えなかった行事が全て滞りなく行え、子どもたちの満足度につながる活動になったと思う。 ・若手教員の指導が(放課後学習に参加する中で...)あまりなかったように感じていたので、チーム研の充実は急がれると思う。
	教科における年間計画の内容や時間	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科では、朝のチャレンジタイムや縄跳び大会など年間を通して体力向上に努めた。 		
学習指導	研修による指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の回数は十分おこなうことができたが、2学期に集中していたので、今後は年間を通して計画的に実施する。 ・初任者研修では、若手教員が授業を参観したり、されたりする機会を持った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の中心を「授業改善」にして取り組んでいく。また、同じ期間に集中しないように計画を立てる。 ・若手教員が増えていく中、「初任者チーム研」の組織力をさらに高めていく。チーム研の内容は、全職員にも伝達していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年の内容を把握しているわけではないが、放課後学習の3年生を見る限り、一つの学年の目標に向かって、頑張っている感がある。 ・若手の先生の育成を、教員が児童の指導に意欲を持って取り組めるよう、さらに工夫して実施してほしい。

	<p>新学習指導要領の理念を踏まえた基礎基本の定着と思考力を伸ばすための授業改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習への理解に関する項目③では、肯定的評価が職員97%、児童90%、保護者94%と高い数値である。基礎基本の学力に関する項目④も意識して、基礎基本の定着を引き続き課題としていく。 ・家庭学習の手引きに関する項目⑥の肯定的評価は、児童90%に比べ、職員27%、保護者68%と依然低い数値である。 ・高学年では、自学コンテストをおこなうことで、目標を持って家庭学習に取り組めた。 ・毎月、家庭読書の日を設定し、家庭と連携して読書の習慣作りに取り組めた。 ・読書通帳に読んだ本を記録することを通して、児童がそれぞれ自分の目標をもって読書することができた。さらに、達成した児童には表彰状を渡し、読書へのさらなる意欲を高めることができた。 ・司書と連携し、授業内容の関連本を書庫で貸し出すで、児童の興味に合う本を学年へ提供できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着と思考力を伸ばすための手立てとしておこなう取組の具体 ①意味や使い方に着目させた漢字学習と反復練習、間違い直しの徹底 ②原稿用紙を使った作文指導の積み上げ ③朝学習や授業始めの時間を使った計算の反復練習 ④学習の見通しや目標を明確にした学習習慣の確立 ⑤一人一人が考えをもち、発言できる機会の充実 ⑥どの子も意欲をもてる授業となる導入の工夫 ⑦学習に関連した本の紹介や、様々なジャンルの本に触れることのできる読書環境づくり ⑧個に応じた支援と個別指導の充実 ⑨ICTを活用した考えや成果物の共有と視覚支援を有効に使った授業づくり ・「家庭学習の手引き」については、時間割の裏に載せたり、自学ノートに貼ったりするなど子どもの目にとまるような形配布する。また、授業の中で、家庭学習の手引きを扱う機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「基礎基本の定着と思考力を伸ばすための手立て・・・」の具体的な取組が記されているので、これら一つ一つを実践の上、学力向上となるように期待したい。 ・学校で基礎学力を担保する姿勢が顕著である。塾任せではない意欲が伺える。 ・反復学習の充実が望まれる。繰り返しの学習にいいねいによりそうことが必要な児童が多く存在していると思う。
<p>学力向上指導改善</p>	<p>自主的により良い学校づくりに取り組もうとする児童の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会を中心に「あいさつをする」「廊下を歩く」をめあてにした取組を、計画、実行することができ、効果が見られた。 ・月目標に学習規律に関する項目を入れて全学年統一して指導することで、学校全体の学習規律への意識を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期も、児童会を中心にして、より良い学校づくりを目指した取組を計画、実行していく。 ・児童が月目標をより意識できるように朝会などで週番の職員が発信していく。 	
<p>生徒指導</p>	<p>児童一人ひとりの内面を理解し、子どもの心に寄り添った指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・困ったときに相談にのってくれるに関する項目14では、三者とも肯定的評価が90%以上と高い数値であった。 ・月1回の生活アンケートを児童が担任に悩みを相談できる機会とし、いじめの未然防止、早期発見につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の確立と学年全体での定期的な確認をおこなう。 ・報告、連絡、相談を忘れず、丁寧な対応を心掛け、保護者と良い関係を築く。 ・配慮の必要な児童への共通理解をしっかりとおこなう。 ・児童と向き合う時間の確保のため、学年に応じて、宿題の出し方やチェックの仕方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめなど、小さな芽のうちに対処しているように思える。 ・いじめ問題は多発しているが、学校の生徒指導に対しては最高の評価が出るものと思う。 ・今年度、いじめ事案が発生したとの報告を受けた。日頃から各クラスの中で赤信号を点滅し、悩みを抱えている児童を発見し、早期に対応してほしい。今後もしじめ事案が発生しないように児童、保護者、学校関係者と良い絆づくりに努めてほしい。 ・「困ったときに相談にのってくれる」に関する項目が高い数値ということは先生方が一人一人に寄り添った関わり、指導をされているという成果だと思える。
<p>いじめ防止基本方針の下、いじめを許さない土壌づくりへの取組</p>	<p>いじめ等の指導事案、児童の抱える問題等について、生活指導部会を中心に、組織的に取り組んでいる。</p> <p>・指導内容等を諸対応メモにまとめ、回覧することで、関係職員全体で共通理解できるようにしている。</p> <p>・学年会で児童について共通理解を図ることや、事案に対して学年で対応することで、未解決の事案がなかった。ただ、学習と生活指導の聞き取りを並行して進めることが難しかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等の指導事案、児童の抱える問題等について、生活指導部会を中心に、組織的に取り組んでいる。 ・指導内容等を諸対応メモにまとめ、回覧することで、関係職員全体で共通理解できるようにしている。 ・学年会で児童について共通理解を図ることや、事案に対して学年で対応することで、未解決の事案がなかった。ただ、学習と生活指導の聞き取りを並行して進めることが難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『よい子』（生活指導通信）、生活ふりかえりカード等による保護者への呼びかけを今後も継続して行い、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの成長を見守る体制づくりを推進していく。 ・休み時間内に聞き取りを終わらせることを基本とし、学年や学団、加配、管理職で対応にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等に関しては引き続き対応、教職員の体制づくりや共通理解などを密にして教職員全体で子どもたちを見ていってほしい。 ・課題のある児童に対して、とても努力されていることは感じられた。しかし、自分たちだけで対応するのではなく、外部へのアプローチをもっと増やしていくべきだと思う。
<p>あいさつや清掃、言葉遣いなどの基本的な生活習慣・マナーの確立を目指した指導</p>	<p>・あいさつに関する項目7では、肯定的評価が職員48%、児童82%、保護者78%と差が見られた。</p> <p>・「さんだつ子のやくそく」を守っているに関する項目10では、三者とも肯定的評価が90%以上と高い数値であった。</p> <p>・丁寧な言葉づかいや、やさしい言い方に関する項目9では、に関しては、肯定的評価が職員79%、児童88%、保護者80%であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、保護者と連携し、日々の生活の場において、あいさつの大切さを伝えていく。 ・あいさつや言葉遣い、掃除など、できていることに対して肯定的な声かけを増やしていく。 ・自然にあいさつができる校内の雰囲気は教職員から創り出して行く。(氏名を呼ぶ、声掛け、会釈の実施) ・荒い言葉を注意するだけでなく、「丁寧な言葉遣い＝相手を大切にすること」という指導を意識して継続していく。 ・休み時間と授業時間の言葉遣いを区別させる。 ・職員室に入るときや、誰かにものを頼むときの言葉遣いを指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、保護者と連携し、日々の生活の場において、あいさつの大切さを伝えていく。 ・あいさつや言葉遣い、掃除など、できていることに対して肯定的な声かけを増やしていく。 ・自然にあいさつができる校内の雰囲気は教職員から創り出して行く。(氏名を呼ぶ、声掛け、会釈の実施) ・荒い言葉を注意するだけでなく、「丁寧な言葉遣い＝相手を大切にすること」という指導を意識して継続していく。 ・休み時間と授業時間の言葉遣いを区別させる。 ・職員室に入るときや、誰かにものを頼むときの言葉遣いを指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等に関しては引き続き対応、教職員の体制づくりや共通理解などを密にして教職員全体で子どもたちを見ていってほしい。 ・課題のある児童に対して、とても努力されていることは感じられた。しかし、自分たちだけで対応するのではなく、外部へのアプローチをもっと増やしていくべきだと思う。
<p>保護者・地域住民との連携</p>	<p>学校教育活動に関する情報提供を積極的に行い、保護者・地域の方々の理解と協力を得る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から全学年の学年通信にHPのQRコードを添付することで保護者への情報発信を図っている。結果として、「通信」や「HP」での情報発信に関する項目21では、保護者の肯定的評価が92%と高い数値であった。 ・「地域とともにある学校づくりの推進」を目指し、地域コーディネーターとの連絡を密にして、学校支援ボランティアによる放課後学習、ミシンボランティア、歴史学習ボランティアなど学校教育活動に協力していただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、HPのQRコードを記載し、情報発信をおこなっていく。 ・感染症対策が終わり、可能な限り、地域教材や学校支援ボランティアの活用を最大限に進める。 ・これまでの学校支援ボランティア活用状況の一覧を作成し、どこで活用するのか各学年の年間計画の中で明確にしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症も5類に変更になり、感染症対策も終わり学校行事においても、日常を取り戻し、地域の皆様方及びボランティアを含め学校に参加し連携できることを高く評価している。 ・感染症対策が終わったので、コロナ以前の地域との交流を取り戻してほしい。 ・地域コーディネーターのもと、学校支援ボランティア・地域の方との連携等、充実して子どもたちの教育活動に十分反映していると思う。 ・地域との連携は増えていて、いい関係が築かれていると思う。それに答えられる地域の力量が少し不安である。

6 学校自己評価の実施状況について

時 期	内 容
5月	運動会アンケート実施
7・8月	前期教職員学校評価実施 前期教職員学校評価分析
11月	音楽会のアンケート実施
12月	後期教職員学校評価実施 児童・保護者学校評価実施
1月	後期学校評価分析・報告
2月・3月	学校関係者評価委員会の学校関係者評価 学校関係者評価を受け、次年度へ向けた方策検討

7 学校関係者評価委員会(学校地域運営協議会)の活動について

時 期	内 容
6月	・学校経営方針・地域運営協議会の構成と年間計画 ・令和5年度学校評価について
10月	・前期学校評価(教職員)の報告 ・1学期の活動内容の報告(見守り隊・放課後学習・がんばりタイム・ 民生委員の友区児童会参加等) ・2学期の活動について(放課後学習・がんばりタイム・あいさつ運動)
2月	・学校評価アンケート結果・学校自己評価・総合的な学校評価について報告と次年度 への改善内容について

8 学校評価の公表について

時 期	手 段	内 容	添付
4月	ホームページ	学校評価結果を踏まえて、今年度の目標や指導方針を説明	
3月	ホームページ	自己評価及び関係者評価を公表	